

施工説明書
(保管用)

施工店様へ

- 施工には電気工事士の資格が必要です。
- 施工前に必ずお読み頂き、確実に配線してください。
- 施工完了後、この説明書を必ず取扱者様へお渡しください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

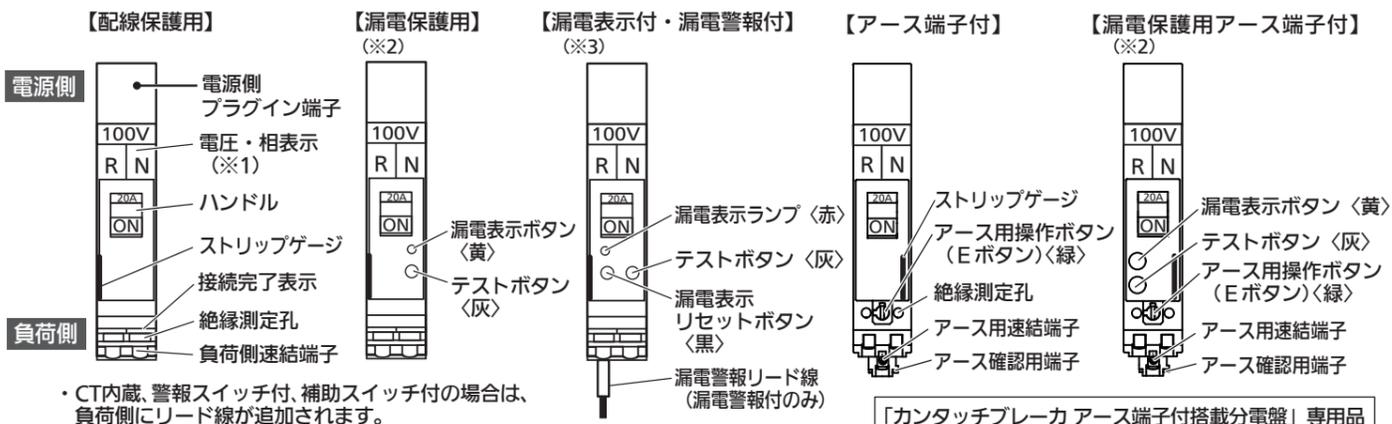
危険

- 施工・点検時には必ず主幹ブレーカを「OFF」にする電源が入ったままの作業は感電の原因になります。
- 速結端子への電線接続は、接続完了表示が確認できるまで、電線を奥まで差込む差込み不足は、感電・発熱・発火の原因になります。
- アース確認用端子とキャビネットの接地端子間の導通を確認してから通電する【アース端子付】【漏電保護用アース端子付】導通不良は、感電の原因になります。

注意

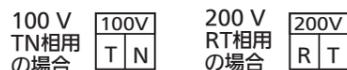
- 当社カンタッチ分電盤に取付ける当社カンタッチ分電盤以外に使用すると発熱・発火・破損の原因になります。
- 電源側プラグイン端子はバーへ確実に差込む差込み不足は、発熱・発火の原因になります。
- 配線は適合した電線・圧着端子および圧着工具を使用する施工不良は、発熱・発火の原因になります。

各部のなまえ・・・対象商品の詳細仕様はカタログなどでご確認ください。



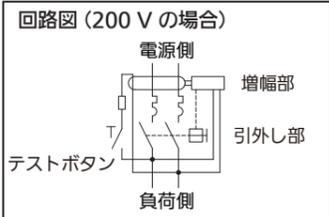
「カンタッチブレーカ アース端子付搭載分電盤」専用部品

※1：電圧・相表示
上図は100V RN相用を示しています。



※2：【漏電保護用】【漏電保護用アース端子付】
● 線間電圧による感電の保護はできません。
● 2本の電線を握ると感電しますが漏電動作しません。
● 回路図は右図となります。

※3：【漏電表示付・漏電警報付】
● 漏電を検出しても、回路遮断はしません。



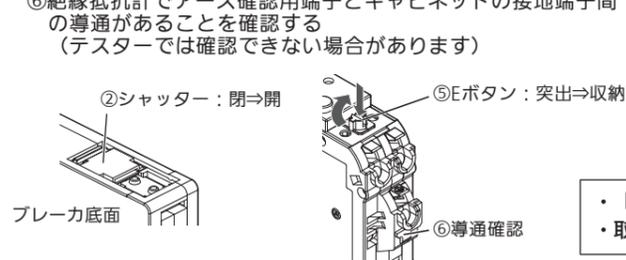
施工上のご注意・・・分電盤の説明書を確認してください。

【漏電保護用】【漏電保護用アース端子付】【漏電表示付・漏電警報付】

- 電源側・負荷側の逆接続はできません。
- 線間絶縁抵抗測定は端子から電線を外して、電線間で行ってください。
- 結線後、主幹ブレーカと該当ブレーカを「ON」にしてから、テストボタン〈灰〉を押し、漏電動作(※)の確認をしてください。
※：裏面取扱説明「※漏電動作」を参照ください。

【アース端子付】【漏電保護用アース端子付】・・・分電盤のラベル「アース端子付ブレーカの取扱いについて」を確認してください。

- 取付け時
 - ①ブレーカを「OFF」にする
 - ②ブレーカ底面のシャッターをカチッと音がするまで開ける
 - ③ブレーカ取付け部(基板)の汚れ、ほこりなどを取除く
 - ④ブレーカを取付ける
(裏面「■ブレーカの取付け、取外し」を参照)
 - ⑤マイナスドライバーでアース用操作ボタン(Eボタン)を押し込み、時計回りに90度回転させる(Eボタンが収納されます)
 - ⑥絶縁抵抗計でアース確認用端子とキャビネットの接地端子間の導通があることを確認する
(テスターでは確認できない場合があります)
- 取外し時
 - ①ブレーカを「OFF」にする
 - ②マイナスドライバーでアース用操作ボタン(Eボタン)を押し込み、反時計回りに90度回転させる(Eボタンが突出します)
 - ③ブレーカを取外す
(裏面「■ブレーカの取付け、取外し」を参照)
 - ④ブレーカ底面のシャッターをカチッと音がするまで閉める

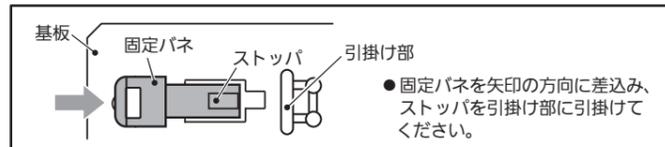


- 「カンタッチブレーカ アース端子付搭載分電盤」以外へは搭載できません。
- 取扱い方法を誤ると感電の原因になります。

ブレーカの取付け、取外し・・・分電盤の説明書を確認してください。

- 固定パネの変形により固定が不十分な場合は、別売の固定パネ(品番：BN84FA8001)に交換してください。

固定パネの取付け



- 固定パネを矢印の方向に差込み、ストッパを引掛け部に引掛けてください。

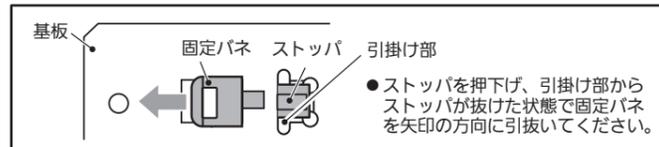
従来型

- ブレーカをバーに差込み、負荷側を下に押すことで、パネの弾力によりブレーカが固定されます。

改良型【BN84FA8001】

- ブレーカをバーに差込み、パネを引上げることで、ブレーカが固定されます。

固定パネの取外し



- ストッパを押下げ、引掛け部からストッパが抜けた状態で固定パネを矢印の方向に引抜いてください。

- 2段階方式(ブレーカの押下げ、パネの引上げ)により、ブレーカ押下げ時の無理な力によるパネの変形や破損を軽減します。
- 目視でパネの引上げ完了(ブレーカの固定状態)が確認できます。

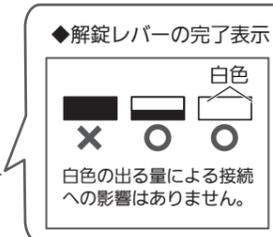
速結端子への電線接続

- 接続電線：φ1.6・φ2.0・φ2.6Cu(銅)単線専用
より線の場合は棒圧着端子をご使用ください。

より線サイズ	適合棒圧着端子品番 【パナソニック製】
1.25 mm ² ・2.0 mm ²	BB9924
3.5 mm ² ・5.5 mm ²	BB9921
8.0 mm ²	BB9922



- 電線の被覆をむく。ストリップゲージに電線を合わせて、18 mmむいてください。(1つの挿入口に2本以上の電線を差込まないでください)
- 電線を差込む。電線挿入口から入れて、接続完了の確認ができるまで差込んでください。電線を抜く場合は、解錠レバーを矢印方向に押しながら電線を引いてください。



ハンドルロック
キャップ品番

- 配線保護用
漏電保護用
漏電表示付
漏電警報付
品番：BC01308042
- アース端子付
漏電保護用
アース端子付
品番：BC01308041

取扱説明書
(保管用)

取扱者様へ

- お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 点検・交換には電気工事士の資格が必要です。
- 取扱前に説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
- この説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

危険

- 端子部にはさわらない感電の原因になります。

注意

- 点検や修理は電気工事店へ依頼する(この説明書を提示する)不良工事は火災の原因になります。

使用上のご注意

- 【アース端子付】【漏電保護用アース端子付】
 - 定期的にアース線がアース端子と導通しているか確認してください。
 - 【漏電保護用】【漏電保護用アース端子付】【漏電表示付・漏電警報付】
 - 線間絶縁抵抗測定は端子から電線を外して、電線間で行ってください。
 - 定期的にテストボタンを押して、漏電動作(※)することを確認してください。
 - 【漏電保護用】【漏電保護用アース端子付】
 - テストボタンを通常の「OFF」操作には使用しないでください。
 - ハンドルを「OFF」にすると、漏電動作(※)が解除されます。
 - 【漏電表示付・漏電警報付】
 - 漏電が継続して発生している場合、リセットボタン〈黒〉を押している間のみ漏電動作(※)が解除されます。リセットボタンを放すと漏電動作(※)に戻ります。
- ※ 漏電動作 漏電保護用：漏電表示ボタン〈黄〉が突出して、ブレーカが動作
漏電表示付：漏電表示ランプ〈赤〉の点灯
漏電警報付：漏電警報接点の動作

漏電動作した場合

- 【漏電保護用】【漏電保護用アース端子付】【漏電表示付・漏電警報付】
 - 動作したブレーカの回路が漏電しています。電気工事店へ点検を依頼してください。

ブレーカが動作した場合

- 【共通】
 - 過負荷が原因の場合は、使用機器をへらした後、ハンドルを「中立」→「OFF」した後、再投入「ON」にしてください。
 - 短絡が原因の場合は、短絡の原因を取り除いた後、ハンドルを「中立」→「OFF」した後、再投入「ON」にしてください。
 - ハンドルの再投入「ON」後、即動作する時は負荷回路が短絡状態か、ブレーカが異常です。電気工事店へ点検を依頼してください。
- 【漏電保護用】【漏電保護用アース端子付】
 - 漏電動作ではない、ブレーカ動作〔漏電表示ボタン〈黄〉が突出せず、ブレーカが動作〕の場合、過負荷が短絡が原因です。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

電気工事店

電話

パナソニック株式会社
パナソニック スイッチギアシステムズ株式会社

〒571-8686 大阪府門真市門真 1048 番地

電設資材商品ご相談窓口 個人のお客様 ☎ 0120-878-082 法人のお客様 ☎ 0120-187-431 FAX ☎ 0120-872-460

© Panasonic Corporation 2024